



無償資金協力の概要

平成25年11月
外務省 国際協力局

1 無償資金協力とは

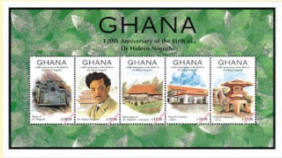
- ◆ 開発途上国等に資金を贈与する援助形態。
- ◆ 贈与された資金は開発途上国の経済社会開発のために必要な資機材、設備およびサービスの購入に充てられる。

無償資金協力の意義

- ◆ 国際社会や相手国のニーズに贈与という形で機動的に対応でき、国際場裏や二国間関係において高い外交的効果を持つ。

無償資金協力プロジェクト事例

ガーナ 野口記念医学研究所改善計画



1974年に日本の援助で設立。ガーナで初めてエイズウィルスを発見、WHOから感染症調査機関に認定されるなど、世界の医学界で「ガーナに野口研あり」といわれる。現地の記念切手にもなっている。

ブータン サイクロン災害復興支援計画



2009年のサイクロンにより甚大な被害を受けた橋梁及び構造が脆弱な橋梁の架け替え。災害時に日常生活に必要な施設へのアクセスが遮断される状態を改善。

タイ パサック川東部アユタヤ地区 洪水対策



2011年の大洪水で記録的な被害を受けたアユタヤ地区に水門を設置。工業団地でビジネスを展開する日本企業にも裨益。

ホンジュラス テグシガルパ市内給水施設小 水力発電導入計画



再生可能エネルギーの導入の一環として、既存浄水場に小水力発電設備を整備。我が国の技術・製品を積極的に活用し、我が国企業の国際展開も支援。

スワジランド 地方給水計画



開発の遅れた地域において、給水事情を改善。対象地域の給水率・衛生環境が改善し、地域格差の是正に貢献。

モルディブ マレ島護岸建設計画



島全体に護岸を整備し、海岸防災機能を強化。2004年のインド洋津波では、この防潮堤が住民を守ったと感謝された。

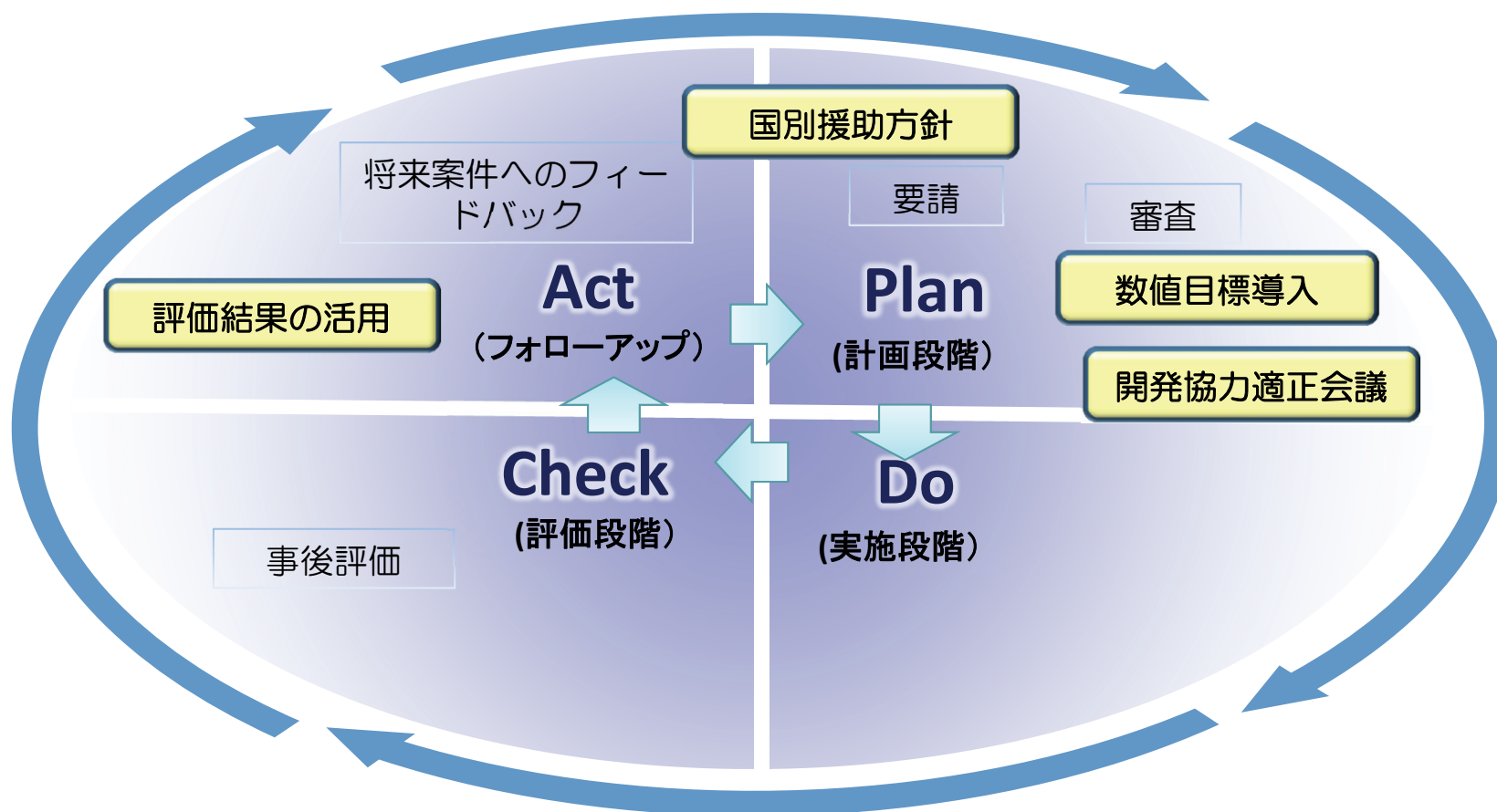
インドネシア 西ヌサトゥンガラ州橋梁建設計画



経済発展から取り残された地域にて、増水時に渡河できない状況が改善。防災能力を高め、地域格差の是正にも貢献。また、日本の鉱山開発事業の環境整備の一環として、我が国への資源の安定供給にも貢献。

3 PDCAサイクル

- ◆ 案件の形成、実施、評価、改善というPDCAサイクルにて案件を管理。
- ◆ 被援助国からの要請を受け、我が国の対外政策、二国間関係や当該国の債務状況、案件の分野、規模、採算性等を総合的に勘案して審査。
- ◆ 案件の実施後は、第三者評価などを活用して事後評価を行い、失敗事例・成功事例双方からの教訓をフィードバックし、将来の案件に活用している。



PDCAサイクルの強化策

- ◆ これまでの行政事業レビューの指摘も踏まえ、PDCAサイクルを強化。

開発協力適正会議の実施

- 2011年、無償資金協力実施適正会議を発展的に改組し、開発協力適正会議を設置。
- 無償資金協力に加え、有償資金協力及び技術協力に関して、NGO、経済界、学界、言論界出身の外部有識者との意見交換を通じ、事業のより一層の効果的な実施と透明性の向上を図る。
- 平成23年10月に第1回会合を開催して以来、平成25年10月まで12回開催。
- 会議は一般公開。関連資料・会議録もHP上で公表。

プロジェクト型無償資金協力への体系的数値目標導入

- プロジェクトの主要な類型をその目的に沿って体系的に整理し、類型ごとに標準的な数値目標を設定（例えば、基礎教育への就学促進を目的とした小学校新設であれば、新たに就学可能になった児童数等について数値目標を設定）。
- これにより、個別プロジェクトごとに合理的な目標設定が可能となる。

貧困削減戦略支援（PRS）無償へのPDCAサイクルの導入

- PRS無償については、①事前評価表の作成・公表、②その結果を踏まえた支援実施、③共同モニタリングを活用した事後評価、④次年度への反映という我が国独自のPDCAサイクルを導入。